

6.28再建津田沼支部結成策動を粉碎!

日新 勤労千葉

80.6.30

NO. 469

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
電話二二五八・九(公衆電話)二二七二〇七

反対同盟・支援共闘と固く連帯し、「再建」策動を断固として粉碎しよう!

全組合員のみなさん。六月二八日、ゆが勤労千葉の断固たる即いの決意と体制として怒りをたぎらせ決起した三里塚芝山連合空港反対同盟、ジェット闘争支援共闘会議の連帯した力の前に、「本部」反動分子が画策した津田沼電車区における六・二八デモチ上げ「再建津田沼支部」結成大会なるものは、ものの見事に粉碎された。近づく全国大会むけ、仮象作り、に焦る「本部」反動分子、

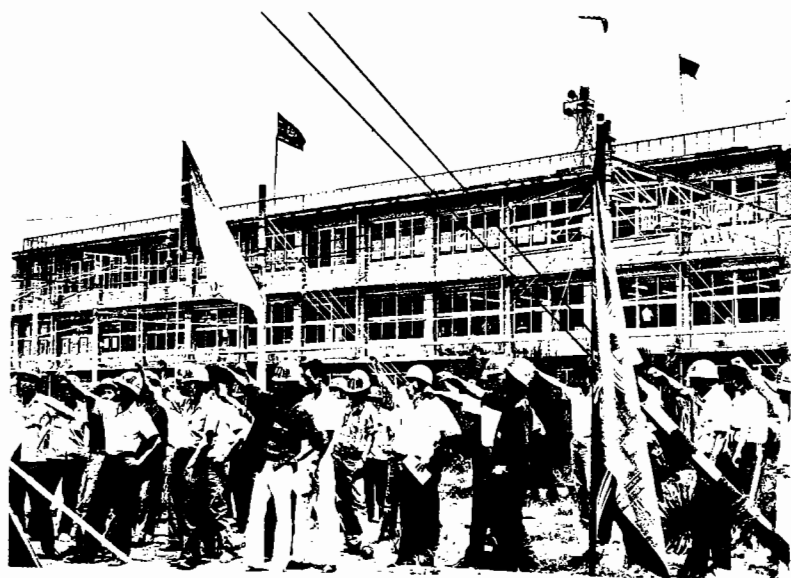
「本部」反動分子は、八月全国大会が刻一刻と近づくなかにあつて「千葉再建」策動が一步も進まず、さりとて「全国大会」に七名が参加したなどと昨号と同じ報告をくり返していることもできず、結局は薄汚い本性も丸出しで当局に勤労千葉弾圧処分を哀願し、唯一その事をデモにして、津田沼・佐倉に「再建」支部↓地本をデモチ上げようと必死に画策しているのだ。その為には「四・五」の如く暴力的スト破り襲撃をし、失敗するや権力当局にタレコミなきつくばかりか、「五五・一〇」を売り渡し「乗務員運用合理化」に卒先協力してまで勤労千葉への不当処分要請に血眼になったのである。

われわれは知っている。このデモチ上げ「再建」策動のお先棒をかつぎ、「本部」反動分子と密通し、私利私欲に走る裏切り者が誰であるかを。それは土屋料であり、津田沼の斉藤(尚)、革マル・スパイ分子嶋田誠であることだ。

「本部」反動分子、津田沼に姿すらも見せられず

「本部」反動分子は、かねてより「六月二八日」に「再建津田沼支部」結成を行うから講習室を貸してくれ」と当局に泣きつき、いやがる短期転勤者にムリヤリ年休を申し込ませていたのだ。

つまり、津田沼の「本部派」なる実体は残り任期もあとわずかの短期転勤者が主体であり、「本部」反動分子からみれば所詮一番安上りな使い捨ての存在である。再建の展望を失った彼らが、嫌がる短期転



6.28決起で「再建津田沼支部」策動を粉碎!

勤者をだまし、恫喝し、無理矢理「突撃隊」に仕立て上げて、とに角支部が出来たと宣伝し、これを突破口に「佐倉結成」を狙ったのである。しかし、この策動は連日行われたる糾弾・説得行動と6.28再建支部結成粉碎闘争による粉碎された。「本部」反動分子は一步も津田沼電車区に近づく事すらできず、支援共闘の津田沼駅宣伝行動・抗議デモに恐怖して私服刑事に守られシッターを閉じカーテンにかくれた「三信」の中で一日中うちふるえていたのだ。

七五やり直して再建「策動」を総力で粉碎せよ!

全組合員の皆さん。六・二八闘争は緒戦の勝利をもちとった。焦る「本部」反動分子は必ずや凶暴化し展望もない「再建」デモチ上げ策動を強めてくるであろう。現に、激しい糾弾にふるえ上った彼らの一部は「七月五日」にもう一度結成大会をやり直せ」と「本部」から指示が来た、と消耗し切った顔で弁明している。六・二八闘争勝利をデモに、全支部からの文字通りの総力で、七・五津田沼に総結集し、やり直し「再建」策動を再び木端徹底に粉碎しよう!